

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

社会（歴史的分野）

令和 6 年 7 月

教科用図書南那珂採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てることができるような工夫が見られる。 (2) 見開きⅠ単位時間ごとに学習課題が設定され、歴史的な見方・考え方の手がかりになるコーナーなどを基に追究し、最後に「チェック＆トライ」コーナーに取り組むことで1時間の学習を振り返る構成・配列の工夫が見られる。
17 教 出	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、とびら・導入ページ、本文・特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっており、「問い」を軸にして課題解決的に追究していくような工夫が見られる。 (2) 見開きⅠ単位時間ごとに学習課題が設定され、資料をきっかけとした深い学びのための「THINK!」コーナーなどを基に追究し、最後に「確認!」「表現!」コーナーに取り組むことで学習内容を深める構成・配列の工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、単元の見通しページ、毎時の学びページ、単元(章)の振り返りページとなっており、学習の見通しと振り返りがしやすいような工夫が見られる。 (2) 見開きⅠ単位時間ごとに学習課題が設定され、資料活用アイコン等を基に追究し、最後に「確認しよう」「説明しよう」コーナーに取り組むことで、知識の確実な定着や表現力等の育成を促す構成・配列の工夫が見られる。
81 山 川	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、扉「日本史と世界史の帯年表」のページ、本文ページ、まとめのページとなっており、世界史を含めた歴史全体の流れをつかむことができるような工夫が見られる。 (2) 見開きⅠ単位時間ごとに学習課題が設定され、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を基に追究し、最後に「ステップアップ」コーナーに取り組むことで深い学びを促す構成・配列の工夫が見られる。

116 日 文	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、学習のはじめにページ、本文ページ・まとめとふり返りのページとなっており、生徒が問いを立て、学習の見通しと振り返りができるような工夫が見られる。 (2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」コーナーなどを基に追究し、最後に「確認」「表現」コーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。
225 自由社	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、章末に調べ学習・復習問題・時代の特徴を考える・対話とまとめの図のページとなっており、章全体を構造的に関連付けて構成するような工夫が見られる。 (2) 見開き1単元時間ごとに学習課題が設定され、キャラクターのセリフにより示唆する学習のポイントを活用して追究し、最後に「チャレンジ」コーナーに取り組むことで簡単な知識の整理ができる構成・配列の工夫が見られる。
236 令 書	(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、本文ページ・特設ページ（コラム）、章のまとめページとなっており、我が国の歴史の特色や歴史の連続性をより実感できるような工夫が見られる。 (2) 縦書きで構成されており、小見出しごとに学習課題が設定され、本文の理解を助ける写真・図・コラムなどで追究し、最後に「まとめ」コーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、対話を通して深い学びを実現するための活動例を、本文やまとめのページに配置し、本文での学習内容の理解を確実にし、話し合いなどの対話的な活動を促すための工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、紙面を導入の資料→学習課題→本文→チェック＆トライの流れで構造化したり、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用して整理したり、グループ学習「みんなでチャレンジ」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、現代的な5つの課題における克服のための取り組みを扱い、持続可能な社会の形成や課題解決のための意識と態度を育てるための工夫が見られる。
17 教 出	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、第1章2節では、対話的な学びの進め方の例を具体的に掲載し、その後の学習において「対話的な学び」を自ら進んで展開できるような工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、各時間の最後に学習を振り返る「確認」コーナーを設けたり、適宜設けられた資料内容を読み取る「歴史の技」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習したことを活用して表現する「表現！」や各章の最後に学習を振り返る「学習のまとめと表現」ページを設定するなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻末で既習内容を活かして、現代社会の課題について、SGDsの視点から問い・調査・考察・発表・交流する学習活動を紹介するなどの工夫が見られる。

46 帝 国	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各章の「章扉」や「タイムトラベル」を活用し、単元全体の学習の見通しを立てて学びを進めていくことで、主体的な学習を促すなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、見開き2ページが構造化された紙面構成になっていたり、基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」を設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、巻頭「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」で、学習で有用な思考ツールを紹介したり、それを用いる場面を多く設定したりするなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、最終単元では、歴史的な背景を踏まえた、社会参画への態度を養うための現代社会の諸課題について解決策を考える活動を行うなどの工夫が見られる。
81 山 川	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、「歴史を考えよう」のコーナー、各章のまとめなどで、さまざまなパターンの豊富な発問を通して、生徒の主体的で対話的な学習活動を促すための工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、難しい用語と同ページに用語解説のコーナーを設けたり、因果関係を説明するために関係のあるコラムを設けたりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各単元の学習課題、ステップアップの課題、図版に付した発問など、各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身に付けられるような工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、各時代の展開や、文化財保護の取り組みを理解する「地域からのアプローチ」が設けられており、歴史を学ぶことの意味を考えさせるなどの工夫が見られる。

116 日 文	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、教科書の「編（章）の問い」や「節の問い」に対する予想や学習後の考えを記録するワークシートを設け、学びの成果や自己の成長を振り返り、学習内容を深める工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、1 授業時間を見開き 2 ページとし、「何を学ぶのか」を学習課題で明確に示し、「確認・表現」コーナーで、学習を確かめるための問いを設けるなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各章末に「まとめとふり返し」を設け、時代の特色をまとめさせたり、考察する際に活用できる思考ツールを随所に設けたりするなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、よりよい未来を考えるに当たって、先人がどのように課題を解決しようと取り組んできたのかを学ぶコラムや特設ページを設けるなどの工夫が見られる。
225 自由社	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、大型のコラム記事など、生徒が興味のある歴史的事象を自らさらに深く学び考えられるような素材を随所に配置するなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、簡単な知識の整理をするために單元ごとに「チャレンジ」というコーナーを置き、章末に復習問題のページを配置して基礎的な用語や知識の定着を図るなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各章の章末において、生徒の探究をうながす課題学習のページや時代の特徴を考えさせるページを設定するなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題など、学んだことを自分で構造化するレッスンの場を設けるなどの工夫が見られる。

236 令 書	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、グループでの調べ学習の手順や方法、ディベートの行い方などまとめ学習における対話が広がるような学習方法の紹介をするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、巻末に解説付きの大きな写真資料を豊富に配置したり、時代ごとの各国の変遷を理解させる世界地図を掲載したりするなどの工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各時代の章末において、まとめを行うコーナーを設け、その中で政治・文化・外交・産業の4つの観点でまとめさせるなどの工夫が見られる。 (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、我が国の光と影の両面を学ぶことで、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養うなどの工夫が見られる。
---------	---

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 学習効果や使用上の利便性については、各ページの定位置にある「二次元コード」から学習段階に応じ、「ワークシート」や「活動ツール」などのデジタルコンテンツを活用することができ、生徒の学びを深める工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、各ページ下の「チェック＆トライ」で1時間の学習をふり返った後、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、各章や節のまとめと、そのまとめを基にした探究課題の解決が効率的に行える工夫が見られる。
17 教 出	(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章の導入や振り返り、「歴史の技」にある「まなびリンク」から、学習場面に応じた、動画やクイズ、リンクを見ることができ、生徒の関心・意欲を高め、理解や習得を促す工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認！表現！」で1時間の学びを振り返り、さらに、各章の学習を振り返る「学習のまとめと表現」では、3段階の構成で、基礎・基本の定着とともに、次の章への準備を効率的に行える工夫が見られる。
46 帝 国	(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章・節の始まりや振り返りにある「二次元コード」から、学習内容の定着や生徒の調べ学習を支える多彩なコンテンツを活用して、生徒の個別最適な学びを支援する工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認しよう・説明しよう」で1時間の学びの振り返りができる。さらに、各章末尾の「学習を振り返ろう」で各章・節の問いについて考えさせ、各時代の特色の考察が効率的に行える工夫が見られる。
81 山 川	(1) 学習効果や使用上の利便性については、「二次元コード」から、拡大した掲載資料や動画を見ることができ、各ページに設けられた発問に対する思考のヒントを与え、理解をより深められる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「ステップアップ」で、1時間の学習内容を踏まえた発展的な学びにつなげている。章末の「まとめ」では、様々なパターンの発問を通して、生徒の主体的・対話的な活動を促す工夫が見られる。

116 日 文	(1) 学習効果や使用上の利便性については、各ページの定位置にある「二次元コード」から、多彩なコンテンツを見ることができ、中でも、「ポートフォリオ」は系統的に配置し、生徒の個別最適な学びに繋がる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認・表現」で、1時間の学習をふり返ることができる。さらに、編末の「まとめとふり返り」では、習得した知識の確認のあと、各編・節の問いに答えることで、時代の特徴を考えさせる工夫が見られる。
225 自由社	(1) 学習効果や使用上の利便性については、見開きのページの概略的な記述内容を、さらに深める大型のコラム「もっと知りたい」を配置し、生徒の興味・関心を高めることで、深い学びにつなげる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「チャレンジ」で、1時間の知識の整理ができる。さらに、章末に「調べ学習⇒復習問題⇒時代の特徴を考える⇒対話とまとめ図」のページを設け、段階を追って時代を大観させる工夫が見られる。
236 令 書	(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文を縦書きにするとともに歴史の転換点を独自に設定したり、扉絵をイラストで表したりするなど、読書するような楽しみを見出しながら、興味・関心を高める工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、本文の時代の転換時には「先土器時代以前」や「平成時代」という見出しを設けている。さらに、各章末に「まとめ学習」を配置し、政治・文化・外交・産業別に時代の特徴をまとめ、全体像を掴ませる工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という観点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、節の問いを解決するための「確かめよう、ふり返ろう」コーナーや、学習した時代を年表で振り返ることができる「まとめの活動」コーナーが設定される等の工夫が見られる。 地域と連携した学習内容として、「地域の歴史を調べよう」や「もっと知りたい」が設定されており、生徒が地域とつながりのある事象を学ぶことを通して地域への愛着をはぐくむための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各見開きページごとに「チェック＆トライ」、習熟を図るために、「みんなでチャレンジ」のコーナーや「活用」のコーナー、さらに、各章の学習を振り返る「まとめの活動」では、「深めよう」のコーナーで探究課題が設定され、効率的な学習ができるように工夫されている。
17 教 出	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、「学習のまとめと表現」では、これまで学習してきたことを振り返る「HOP」コーナーやQRコードの読み取りによりクイズ形式で学習することのできる「まなびリンク」が設定される等の工夫が見られる。 地域と連携した学習内容として、「身近な地域の歴史を調べよう」や「歴史を探ろう」が設定されており、生徒が地域とつながりのある事象を学ぶことを通して地域への愛着をはぐくむための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各見開きページごとに「確認＆表現」、習熟を図るために「THINK」のコーナー、節の終わりごとに「○節をとらえる」、さらに、各章の学習を振り返る「学習のまとめと表現」では「STEP」や「JUMP」が設定され、効率的な学習ができるように工夫されている。
46 帝 国	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、写真や図が大きく示されるとともに、QRコンテンツによって、参考資料を見ることができたり振り返りができるワークシートが表示されたりする等の工夫が見られる。 地域と連携した学習内容として、「未来に向けて」のコラムを設定することで歴史・地理・公民の分野間連携ができ、自分たちの地域や生活につなげられるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、「章の振り返り」が設定され、学習事項の確認ができるようになっていたり、自分の考えをもち対話を通して習熟が図られたりできるような工夫が見られる。

81 山 川	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、自ら学習内容のより深い理解を促す「ICTを利用した学び」のコーナーや生徒が見通しをもって学習に取り組むことのできる学習課題が設定される等の工夫が見られる。 地域と連携した学習内容として、「地域からのアプローチ」や「身近な地域を調べよう」のコーナーが設定されており、生徒が地域の歴史や伝統文化に焦点をあてて調べ学習を行うことを通して地域への愛着をはぐくむための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各章のまとめにさまざまなパターンの豊富な発問が配置され、生徒の主体的・対話的な学習活動で習熟を図ることができるような工夫が見られる。
116 日 文	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、写真や図が大きく示されているとともに、QRコンテンツによって、動画を見ることができたり確認小テストが表示されたりする等の工夫が見られる。 地域と連携した学習内容として、地域の事例のコラムを多く提示することで、自分たちの地域や生活につなげて考えることができるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、「編のまとめとふり返し」が設定され、学習事項の確認ができるようになっていたり、自分の考えをもち対話を通して習熟が図られたりできるように工夫されている。
225 自由社	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、写真や図が大きく示されているとともに、コラムが多く、生徒が興味関心をもって歴史学習に取り組んでいける等の工夫が見られる。 地域と連携した学習内容として、名前の由来等、独自の視点で歴史を身近なものとして捉え、今の自分たちの生活につながっていることを感じられるような工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、章の終わりに「復習問題のページ」が設定され、学習事項の確認ができるようになっていたり、「ひとこと作文」をとおして自分の考えをもち習熟が図られたりできるような工夫がされている。
236 令 書	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、考えを深める「考えようコーナー」や、各時代の特色を捉える「時代ごとの特色をとらえよう」のコーナー、漫画が読めるサイトのQRコードの設定等の工夫が見られる。 地域と連携した学習内容として、「市町村歌を調べてみよう」や「身近な歴史を年表にまとめてみよう」、「展覧会に行こう」のコーナーが設定されており、生徒が地域住民と触れあって学ぶことを通して地域への愛着を育むための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、時代ごとの国の分布図や参考資料が豊富に配置されたり、ディベートやディスカッション、新聞にまとめる学習で習熟が図られたりできるように工夫されている。